




枨写





| さ受四技円 営げる認す なけ○機に二業る場定る営 いた円七に営合遊遊遊型技式検亮認八係業で技技所機に定と定○ も外にがに設 に属をに遊○ のの掲あ未置 | え加お分げの該にもいたつい験機数技加乗二機○ていなけ以以に定十四技円 る <br>  <br>  を額そのにの額申係属受，い機試請額円数遊八つ機に属を機技型の第を定の加をの区掲こに請るなほかな試験手遊ををに技○いとさ受っ機式検二に遊○ |
| :---: | :---: |







| 許るに行可賛な第る置四 に合い者申主ち項業第係のてが請る当許同で規所項 も該可時あ業屋定いの に他をに受他て限はよて眝対風けの当る令るのが る営ら風弾し第風涕適 <br> 該請係屋つ用第手風当にる等いさ素数俗 すおものてれ項料蛍 もてで俗ぱ営規法許 －減同覚時業え業定第可 に申にこに適条請 |
| :---: |
|  |  |



|  |  |  |
| :---: | :---: | :---: |
|  |  |  |
|  | え加お分げのに請るなけかな試験手遊額円数遊八つさ受四技円 営げる認す四 たえのにる金該にもいたつい験機数技ををに技○いなけ○機に二業る場定る営額たお応遊額当おの遊型，遊を関料機加乗二機○ていた円い（六に営合遊遊業 <br>  を額そのにも減時に属をでて技是申額得○型に当二機に梌を諚○も外にがに設加をの区掲の額申係さ受，い機試請にた○の該下汇属をに遊○のの掲あ未置 |  |


| つ同で風法 い時あ俗第 てにつ営七承他て業条認の当の第 を風該相一受 俗 申続項 け営請のの よ業を承規 うの行認定 と相うのに す続者申よ るにが請る |  | 風 法俗 第営 五業 条 <br> の第許 四可 項証の の規再 定交に付よ <br>  <br>  <br>  | 審業と営請の条営 三 さ法査のす業を許に業条れ第許るに行可規っ第る四可場つうの定ぱー営条 に合い者申すち項業第係のてが請るんの所三 る当許同で営こ規に項 も該可時あ業屋定つの の他をにつを及にい規 にの受他て除びよて定対風けの当く令るのが す俗よ風該（第風法適 る営ら俗申｀七俗第用 | も営場つうの条営三さ法 の業合い者許に業条れ第 <br> のにてが可規っ第る四 に許あ許同の定ぱー営条対可つ可時申手ち項業第 すにてをに請るんの所霊 る係は受他っ営こ規に項審る当けの当業屋定つの査も該よ風該を及にい規 <br> の他う俗申除びよて定 <br> でのと営請く令るのが <br> な風す業を ○第風法適 <br> い俗るに行し七俗第用 | 審業と営請の七俗第さ法査のす業を許条営素れ第許るに行可に業条な四可場つうの規っ第い条 に合い者申定ばー営第係のてが請すち項業 る当許同でるんの所項 も該可時あ営こ規にの の他をにつ業屋定つ規 にの受他てを及にい定対風けの当除びよてが す俗よ風該く令るの適 る営ら俗申 ${ }^{\circ}$ 第風法用 |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| に申申風該請請俗当に手営 すお数業 る い 料 相 もて 続 の減同承額 時 認 | いてび申申風 も減同請請俗 の額時で手営 に申な数業該請い料相当にも一続 しおの同承 ない及時認 | 交 風付 俗手 営数 業料 許可証 | 額時業屋つ用第手風 に申に等いさ三数俗該請係以てれ項料営当にる外のるの 業 すおものぱ営規法許 るいの風ち業定第可 もてで俗ん所が四申 の減同営こに適条請 | ない及時業屋つ用第手風 いてび申に等いさ三数俗 も減同請係以てれ項料営 の額時でる外のるのへ業 に申なものぱ営規法許該請いの風ち業定第可当にもで俗ん所が四申 しおの同営こに適条請 | の減同営こに用第手風額時業屋つさ三数俗 に申に等いれ項料営該請係以てなの当にる外のい規洼許 すおものぱ営定第可 るいの風ち業が四申 もてで俗ん所適条請 |
| $\begin{aligned} & \text { 三 } \\ & \text { 八 } \\ & \bigcirc \\ & \bigcirc \\ & \oplus \end{aligned}$ | $\begin{aligned} & \text { 九 } \\ & \bigcirc \\ & \bigcirc \\ & \bigcirc \\ & \text { 円 } \end{aligned}$ | 二 二 $\bigcirc$ $\bigcirc$ 円 |  |  |  |


| 時申よ法 に請る第他 の当例条特該風の例申俗二風請営第俗を業一営行者項業うのの者者認規 とが定定 し同のに |  |  | に法合い俗申割よ法対人のて営請のる第 すの当承業を承風七 る分該認者行認俗条審割他をたうの営の査のの受る者申業三 <br> 承風け法が請者第 <br> 認俗よ人同でた一 <br> 係業と分につ法の <br> る者す割他て人規 <br> もたるにの当の定 <br> のる場つ風該分に |  | に法合い俗申併よ法対人のて営請のる第 すの当承業を承風七 る合該認者行認俗条審併他をたうの営の査のの受る者申業 <br> 承風け法が請者第 <br> 認俗よ人同でた <br> に営うの時ある項 <br> 係業と合につ法の <br> る者す併他て人規 <br> もたるにの当の定 <br> のる場つ風該合に | のるつ認者行併よ法 で法てをたらのる第 な人は受る者承風七 いの当け法が認俗条 も合該よ人同の営の <br> の併他うの時申業 <br> こののと合に請者第 <br> に承風す併他 <br> 対認俗るにの当る項 <br> すに営場つ風該法の <br> る係業合い俗申人規 <br> 審る者にて営請の定 <br> 査もたあ承業を合に | 審続場査の合 <br> 承の <br> 認 当 <br> 係他 <br> るの <br> も風 <br> の俗 <br> に䌜 <br> 対采 <br> る相 |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 及時定特 び申申例同請請風時で手俗申な数営請い料業 にも一者 おの同認 | $\begin{aligned} & \text { 換 風 } \\ & \text { 俗 } \\ & \text { 数業 } \\ & \text { 料許 } \\ & \text { 可 } \\ & \text { 証 } \\ & \text { 書 } \end{aligned}$ |  | の減同承風額時認俗 に申申営該請請業当に手法 すお数人 る い 料 分 もて～割 | しおの同承風 ない及時認俗 いてび申申営 も減同請請業 の額時で手法 に申な数人該請い料分当にもへ割 | の減同承風額 時 認 俗 に申申営該請請業当に手法 すお数人 る い 料 合 もて へ 併 | しおの同承風 ない及時認俗 いてび申申営 も減同請請業 の額時で手法 に申な数人該請い料合当にも |  |
| 一 五 0 $\bigcirc$ $\bigcirc$ 円 | - 五 0 0 円 | $\begin{aligned} & - \\ & \vdots \\ & \bigcirc \\ & \bigcirc \\ & \bigcirc \\ & \oplus \end{aligned}$ | 三 $\cdots$ $八$ 0 0 円 | $\begin{gathered} \because \\ \vdots \\ \vdots \\ 0 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \end{gathered}$ | $\begin{gathered} \text { 三 } \\ \text { 八 } \\ \bigcirc \\ \bigcirc \\ \text { 円 } \end{gathered}$ | 二 <br>  <br>  <br> 0 <br> 0 <br> 0 <br> 円 |  |


| 法遊のる法第技検遊第二機定技二条指受機 条第定け法第二試た第二項験型二項 の機式十の認関に条規定が属第定 に行す四に必うる項よ | に認にて式申該に要法遊のる法対定あ認に請申限な第技検遊第 すにつ定属に請る試二機定技 る係てをす係を（験十 を機 十審るは当は他る遊らの受条第定け受法条第 の該よの技者認け二試た第二 で他う遊機が定た項験型二項 なのと技と同のもの機式十の い遊す機同時申の認関に条規 も技るに一に請を定が属第定 の機場つの当っ除に行す四に の合い型該当ぐ必らる項よ | すにつ定属に請る要法試のる法 る係てをす係を。な第験指遊第審るは受るる行こ試二機定技二査も当け他遊うの験十関試機十 の該よの技者認を条験っ条 で他ら遊機が定受第と機法第 なのと技と同のけ二い関第 い遊す機同時申た項う <br> も技るに一に請遊の の機場つの当っ技認し下条規 －の合い型該当機定がっ第定 に認にて式申該にに行指五に対定あ認に請申限必う定項よ | のよ法再る第交特十付例条 <br> 風の <br> 俗 二 <br> 営第 <br> 業五 <br> の <br> 認規 <br> 定定 <br> 証に | に業る者者申よ法対者場とが請る第 すと合し同で特＋ るしのて時あ例条審て当認につ風の査の該定他て俗二認他をの当営第定の受特該業一 に特け例申者項係例よ風請のの る風う俗を認規 も俗と営行定定 の営す業うのに | の営に で業あ認 な者つ定 いとてを もしは受 のて当け の該よ に認他う対定のと すに特す る係例る審る俗場 |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 関技た数遊 の機型料技遊指に式っ機機定属定定試試すを申験験る受請 を機遊け手 | いてび申に受関技た数遊 も減同請係けの機型料技 の額時でるた遊っ式っ機 に申なもも技指に検認該請いのの機定属定定当にもでを試試すを申 しおの同除験験る受請 ない及時ぐを機遊け手 | の額時でる受関数遊 に申なもけの料技該請いのた遊っ機当にもで遊技指認 しおの同技機定定 ない及時機試試申 いてび申に験験請 も減同請係を機手 | 定特 <br> 証例 <br> 再 風 <br> 交 俗 <br> 付営 <br> 手業 <br> 数 者 <br> 料認 | 額時定特 に申申例該請請風当に手俗 すお数営 るい料業 もて 者 の減同認 | $\begin{aligned} & \text { ない } \\ & \text { いて } \\ & \text { も 減 } \\ & \text { の額 } \\ & \text { 該 } \\ & \text { 当 } \\ & \text { 俗 } \end{aligned}$ |
| 四 $\bigcirc \bigcirc$ 円 | 四 三 四 $\bigcirc$ 円 | 二 $\cdots$ $\cdots$ $\bigcirc$ $\bigcirc$ 円 | 二 - - $\bigcirc$ $\bigcirc$ 円 | - <br>  <br> t <br> 0 <br> 0 <br> 円 |  |

対定あ認に請申除受び必うる法定るに一に詩ご語し要 る係てをす係をした第な第技二係合い型該当る試
 の該よの技者認に条を条指第 で他ら遊機が定属第受第定二 なのと技と同の守四け百試項 い遊す機同時申る項た項険の も技るに一に請遊の遊の機規 の機場つの当て技検技認関定 －の合い型該当機定機定がに
に認にて式申該をを及に行よ


るの
も当
の該
に他
対の
す遊
る技
審機
昷
$\qquad$認に請乙請





|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |





| にと技と同でる法係す機同時あ遊第 る るに一につ技二試場つの当て機十験合い型該当の条 のて式試該認第当試に験申定二該験属に請に項他をす係を必の の受るる行要規遊け他遊うな定技よの技者試に機ら遊機が験よ |  |  |  |  |  |  |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 額時機 に申試該請験当に手 すお数 るい料 |  |  |  |  |  |  |  |
| 蔵口つ限が作装も設機 すセ • で動置のけでぱ るッマ もサインるせ連当れ定ん の1クでもる続該て装こ にをロ－のこし特い置遊係内プかにとて定るが技 | 一機技ま <br> 九に機で <br> 係以に <br> 一る外掲か <br> ○ものげら <br> ○の遊るさ <br> 円技遊 |  |  |  |  | 四の1 クル二にをロ遊ア <br> －係内プ技レ も覧ロ機こ のるッマホ もサイ |  |



| 定が遊法 に行技第必う機要法の十 な第型条試 二式第験 干 四 を条指項受第定に け四試規 た項験定型の機す <br> 式 検 関る |  |  |  |  |  |  |  |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| を験請 遊受機手技 け関数機 たの料型型型っ式式式指検 に試定定係 験 試 申 |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 機技ま 三 <br> 四に機で <br> 係以に <br> 八る外掲か ものげら の遊る十 技遊 二 |  |  |  |  |  |  |  |










|  | の出条条十第定準十三第準十法交がのの一手に用二十手用二第付あ十士条干よす条二干す条 つ七二の一るるの条一るの十 た第第七条法場十の条場十七旨 一二第の第合七七の合二条 を項項二二項を第第二を第第記の又項第十含二正第含二四載届は－項 七項項四志項項 <br> 書の干干第一のい第法又い第面提一一手項規て系第はて忈 |  |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: |
|  | 手 業 性数届風料出俗確 関認連書 特交殊付営 | 講風 手 俗 数業 料乺 管 理 者 |  |
| 附律 っをすのの又るる業く項則第平改る適規は者者をは「法第百成正法正制風をつ営第第第三十十す律化及俗除きも十八条九七るの等び営くにら項項条第号年法一に業業（揭との若第 <br>  |  |  | え加お分げのに請るなけかな たえのにる金該にもいたつい額たお応遊額当おの遊型 「遊額のじ技のすいで技式検技 の「機欄るて同機に定機 を額そのにも減時に属をで加をの区掲の額申係さ受 |


| た定準十三第準十法旨に用二干忈用二第 をよす条一干す条記るるの条一るの十載届場十の条場十七 し出合七七の合二条 た書を第第二を第第書の含二正第含二四面提む項項四む項項 の出 ○に及項 「に再が $\downarrow$ びっこお法交あのい第 法又い第付つ規て当第はて当 | 記のい第法又に」定準十三第準十法載届て第はお法に用二十正用二第 し出準干三第い第よす条一干す条 た書用一十三て白るるの条一るの十書のす条一十準干法場十の条場十七面提るの条一用一第合七七の合二条 の出場十の条す条二を第第二を第第交が合七七のるの干含云云第含二四付あを第第二場十七品項項四离項項 たむ含項項第合第条し第しおびった項しに原 をしにに旨を項含害項項規て第法又い第はて第 |  |
| :---: | :---: | :---: |
| 付業性手 届 風数 出 俗料確 関認 連書 特再殊交 営 | 交 業 性付変風手更俗数届 関料出連確 特認殊書 営 |  |
|  |  | 係み提一十項一第第条一法項三るな出項二若条—三の項第の いもさしの条しの項干二只西規四のれた届のく十 ——第第十定 ○るも出十は二第条二第七に ○者の書七第第方の項干条よ円 にとを第三一十七こ一第り |

